

＜「農村」の部＞

農業等に関する市民の理解の促進

(1) 農業及び農村に関する情報の提供

○市民への情報発信

市広報や小郡市観光協会フェイスブックにおいて、農村風景の写真掲載や本市農産物、イベントに関する記事をシェアし、PRに努めました。また、マスコミ各社へ積極的にイベント等のプレスリリースを行いました。



○生産者と消費者との交流の促進

農業体験やイベント等を通して生産者と消費者との交流を図りました。

①災害食料教室（三井高校「家庭クラブ委員会」主催）



委員会の研究活動テーマ

「地域とつながろう」の一環として、断水時に水を使わずとも煮炊きができる調理法について、地域の方々と共に調理しながら交流を深めようと企画され、委員会に食材を提供している認定農業者の会のメンバーも招かれました。

献立は、ご飯とサバの煮魚、蒸しパンでした。委員会は、この研究で福岡県防災賞を受賞しました。

当日の様子は、RKB毎日放送「福岡県庁知らせた課」の取材を受け、「災害について考えましょう～福岡県防災賞～」と題して5月3日に放映されました。

②おごおりバザール

「レールあんどハイク×おごおりんぐ」のゴール地点となる九州歴史資料館前にて開催された「おごおりバザール」に認定農業者の会が参加し、新鮮野菜の販売を通じて、ウォーキングイベント参加者と交流を図りました。



③小郡魅力化計画

一人ひとりが地域(まち)に対して抱く「特別な思い」を他者と分かち合い、地域の持続的発展へとつなげていく「魅力化計画」に地域おこし協力隊が参加しました。

農業関係では、「家庭菜園」、「農家民泊」、「農業女子」、「買い物弱者」など様々なことを協議し、手始めに「軽トラ市」を実施しました。他にも、農業女子チームで農産物による小郡ブランド商品開発構想や農家民泊による農業体験と外国人技能実習生との異文化交流を図る構想などが議論されました。

農業が持つ多面的機能が発揮できる環境の整備

(1) 農業・農村の多面的機能の維持・向上

農業には、国土の保全や水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観形成などの機能が発揮されます。そうした利益は、様々な形で市民が享受しています。しかし、農業者の高齢化により、そうした農村環境を維持することが困難になってきたことから、農業者だけでなく地域全体で草刈りや水路の泥上げなどに取り組んでいく活動を国が支援しています。

光行のチューリップ園もこうした共同活動の一環として整備されています。



男女共同参画社会の確立

(1) 女性農業者の地位向上

○男の料理教室

農業分野における労働環境は、家族経営が多い状況にあります。ライフスタイルが変化している現代においても、農業に従事する女性は、家庭内の家事をも担う状況が未だに数多く見受けられます。

こうした状況を改善するために、認定農業者の会では、男性農業者が料理を学ぶことができる場を設けることで、男女のワークライフバランスを考える契機にするようにしています。

8月29日に開催した料理教室では、「小郡市健康を守る母の会」の会員の方々から調理方法を教わりながら、認定農業者の会の会員が作付した野菜を使用した①小松菜肉まん、②野菜サラダ、③あんまんを楽しく調理しておいしくいただきました。



【生地をコネコネ奮闘中】



【盛り付け中「おいしそ〜」】